

飛騨市学園構想  
SUPER COMMUNITY SCHOOL



51

みんなが育て みんなが育つ 魅力あるまち

2020年のプレ開講から今年で5年目を迎える「飛騨市民カレッジ」。面白い学びの場づくりを進めており、市民の人生を豊かにするためのさまざまな講座を開催しています。

◆多種多様な「学び」

講師に著名人や大学教授、地域の識者といったさまざまな分野の専門



県外から著名な方を招いて、多世代で盛り上がる

学びに卒業なんてない！ 飛騨市民カレッジ

家を招く講座や市民が自ら企画し講師を務める「自主講座」があります。

話を聞いて教養を深める講座はもちろん、体を動かしたり、物を作る講座などもあり、幅広い世代の方が参加できる機会を提供しています。

また、自主講座からサークル活動へ発展した例もあり、多角的な学びの機会から「みんなで育てみんなが育つ魅力あるまち」を目指しています。

◆世代を超えた学び合い

多くの人に愛される「ジブリ」がテーマの講座では、中学生から高齢者



ジブリ講座で子どもから大人まで一緒に語り合う姿

まで幅広い世代が受講し、共通の話題で盛り上がる、まさに「世代を超えた学び合いの場」となりました。

ほかにも、高校生が高齢者に俳句を教える講座など、受講生同士での多世代交流だけでなく、子どもから大人へ教え、学び合う姿も見られるような講座も設定しています。

目まぐるしく変化する社会の中で学びの必要性があるのは子どもだけではありません。生涯学び続ける喜びや楽しみを感じられる講座をこれからも提供していきます。

生涯学習課

情報発信

ホームページ

Facebook



問 学校教育課 ☎ 0577-73-7494

今月の  
ゼロカーボン  
アクション

市内事業者向け  
省エネ・再エネ経営セミナーを  
開催します

CO<sub>2</sub>

CO<sub>2</sub>ST

参加  
無料

～コスト削減と脱炭素を同時に実現～

エネルギー価格の高騰や脱炭素経営への対応が求められる中、事業運営に役立つ省エネ対策・再エネ導入の基本や最新情報を、専門家がわかりやすく解説します。電気代削減、補助金の活用、自家消費型太陽光などに関心のある事業者の方は、ぜひご参加ください。

日時

7月24日 木 13:30~14:30

開催日前日までにお申し込みください

場所

飛騨市役所  
本庁舎2階 会議室

※ZOOMでの参加も可能

対象

市内の事業者

申込フォームより  
必要事項をご入力の上、お申し込みください



お問い合わせ  
環境課 ☎ 0577-73-7482

## こんにちは 市民病院です

地域を愛し、  
愛される病院をめざして

飛騨市民病院では、令和3年度より患者様の満足度向上を目指し、ホスピタリティ活動に取り組んでいます。毎月開催するホスピタリティ推進チーム会議には、各科の責任者や事務局など9名のメンバーが参加し、試行錯誤を重ねながら、患者様にとってより快適な環境づくりを目指しています。

ホスピタリティとは、おもてなしの心で、相手を尊重し、心から快適に過ごせるよう、細やかな配慮を尽くすことです。具体的には、相手の

ニーズを理解した対応、笑顔での接客、気持ちの良い空間作りなどが挙げられます。

病院職員の接遇向上を目的とした「まごころキャンペーン」は、ホスピタリティ推進チーム会議の具体的な活動の1つです。キャンペーンでは、「思いやりの言葉」をテーマに、ポスターを掲示し、全職員で1カ月間徹底した接遇を実践することで、病院の基本理念の1つである「思いやりの心」を体現しています。

各回のキャンペーンの標語は職員から募集し、投票形式で選出しています。選ばれた標語は、ポスター掲示やデジタルサイネージ（電子掲示板）、ホームページ掲載などに活用し、職員のモチベーション向上と意識付けに役立てています。

また、新人看護師向けの研修では、ホスピタリティ（接遇）研修を

取り入れており、講師の失敗事例などを交えながらより実践的な内容構成となっています。

これ以外にも、以前より、職場環境の改善を目的とした、5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけの頭文字を取った言葉）活動を実践しており、業務の効率化や安全性の確保につながるよう取り組んでいます。

これからもこれらの活動の一つひとつ丁寧実践し、地域に愛される病院をめざしていきたいと思っています。



問 飛騨市民病院  
☎ 0578-82-1150



<その64> はじめませんか？

独りよがりにならないために

近年「お墓を引き継ぐ者がいない」、「子どもたちが遠方に住んでいる」などの理由で、墓じまいをする人が増えています。また、従来通り墓地でお墓を建てて弔うというスタイルではなく、樹木葬や納骨堂での遺骨安置などの跡継ぎのいない供養を選ぶ人もいます。

そんな中、「散骨」という埋葬方法を希望する人もあり、暗いお墓の中に入れられるよりは、開放的な自然の中で自由になりたいという考え方もあるようです。

しかし、「散骨」は意外と手間のかかる上に、注意しなければならない点も多いのです。

まず散骨する際、遺骨を2ミリ以下の粉末にする必要があります。これを個人で行うのは大変な労力があるので、専門業者に依頼することになります。

また、散骨を行う場所ですが、当然公共の土地や自分の土地ではない場所に撒くわけにはいきません。これも多くの場合、専門業者に依頼して海上や許可されている場所で行うことになります。たとえ自分の土地であっても、散骨した後少しでも土をかぶせたりすると「墓地、埋葬等に関する法律」に抵触する可能性もありますので注意が必要です。

終活することが身近になり、自分の最期を自分で自由に希望することができるようになった今、葬儀や供養の方法を事前に決めておく人も増

えてきました。しかし、それらは当然自分で行うわけにはいかず、家族や身近な人に頼まざるを得ません。

自分の希望する事が独りよがりにならないように、生前からの十分な話し合いをしてみてください。



問 飛騨市終活支援センター  
（飛騨市社会福祉協議会内）  
☎ 0577-73-3214